

= Match Report =

平成29年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技県予選会

決勝

2017年 6月 25日 (日)

13:00 kick off 会場(栃木県グリーンスタジアム)

栃木高校

vs

真岡高校

1 0 - 2 4
1 - 2
-
-
PK
-

基本システム 1 - 4 - 4 - 2 基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

連戦となった決勝。栃木高校と真岡高校の対戦となった。両チーム、1-4-4-2でスタート。ボールを保持して攻撃を仕掛ける真岡に対して、栃木はブロックを形成してカウンターを窺う。DFラインが上げられず、3ラインが若干間延びしてしまった栃木は、守備で連動性を発揮できず劣勢となる。真岡はMF⑦金澤のバイタルエリアへの楔をスイッチに攻撃を仕掛け、MF⑧鵜養が左サイドから度々好機を演出する。24分に、その鵜養のクロスでFW⑳齋藤が決めて真岡が先制する。その後、栃木はバランスを取り戻すが攻撃時のパス精度を欠き、状況を打破できない。終了間際にCKからFW⑳齋藤が今日2点目を決めて、真岡優位で前半戦を終えた。

迎えた後半も構図は変わらない。44分、またもやMF⑧鵜養が左サイドから中央へボールを送り、MF⑥和氣がゴールして3点差とする。その後も試合を優勢に進める真岡は74分に⑪根本が得点して突き放す。大勢は決した中で、栃木はツートップの献身的なチェイシングやDF陣の体を張った守備を見せる。全員が終盤まで集中を切らさずプレーを続け、81分にFW⑭味村が得点。一矢を報いた。

敗れた栃木は、ノージャッチで蹴るシーンが少なく、つなぐ意識をもって戦ったが、DFラインのプッシュアップが足りず、攻撃に厚みを持たせられなかった点が悔やまれる。勝利した真岡は、試合巧者ぶりをいかんなく発揮した。守備戦術が整理され、簡単には崩されない印象が強い。攻撃における連動性を高めて、本大会で好成績を残していただきたい。

記載責任者 所属(今市高等学校) 氏名(北村 真一)